

エコアクション21

# 環境経営レポート

2020年10月～2021年 9月

第48期



2021年11月30日

**北**株式会社 北原組

## 目 次

1.	会社概要	1
2.	環境経営方針	2
3.	実施体制	3
4.	環境経営目標	4
5.	環境経営計画	5
6.	環境活動の取組結果と評価	6
7.	環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の 結果並びに違反、訴訟等の有無	9
8.	代表者による全体取組状況の評価 及び見直しの結果・指示	10

# 1. 会社概要

1) 会社名 株式会社 北原組

2) 代表者名 代表取締役 北原裕一

3) 所在地 〒384-1101  
事務所 長野県南佐久郡小海町大字東馬流3963番地  
土場 長野県南佐久郡小海町大字東馬流4132番地  
資材置場 長野県南佐久郡小海町大字東馬流4060-3番地

4) 事業内容  
・建設業〔土木、とび・土工、石工、管、鋼構造物、舗装、  
しゅんせつ、塗装、水道施設、解体工事業〕  
・売電事業

5) 事業規模

創立年月日	1915年11月
設立年月日	1974年4月
資本金	4,000万円
売上高	15,237万円(2021年 9月)
従業員数	9名
床面積	138.16㎡ 51.84㎡

6) 環境管理責任者 北原 富美子  
(連絡先) TEL 0267-92-2064  
FAX 0267-92-4403  
E-mail [info@kitaharagumi100.co.jp](mailto:info@kitaharagumi100.co.jp)

## 2.環境経営方針

### 基本理念

株式会社北原組は、地球環境の現状を深く認識し、社業である建設(土木)工事の事業活動において、より環境に負担を与えない意識を持続させ、継続的な環境保全活動に取り組みます。

### 活動方針

- 1.当社事業に係る、環境関連法規を遵守し、業務を適正かつ完全に行います。
- 2.環境負荷の低減のため、以下の改善に努めます。
  - ①二酸化炭素排出量の削減。
  - ②産業廃棄物・一般廃棄物の排出削減とリサイクル率の向上。
  - ③節電に積極的に取り組む。
  - ④環境に配慮した製品の提供の推進。
  - ⑤グリーン購入の推進。
  - ⑥自然資源(太陽光)の有効活用。
- 3.全社員に環境保全活動に対する認識の教育を徹底し、環境保全意識の改善と向上に努めます。
- 4.環境保全目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。
- 5.環境経営方針は、社外に公表し、地域での環境保全活動にも貢献します。

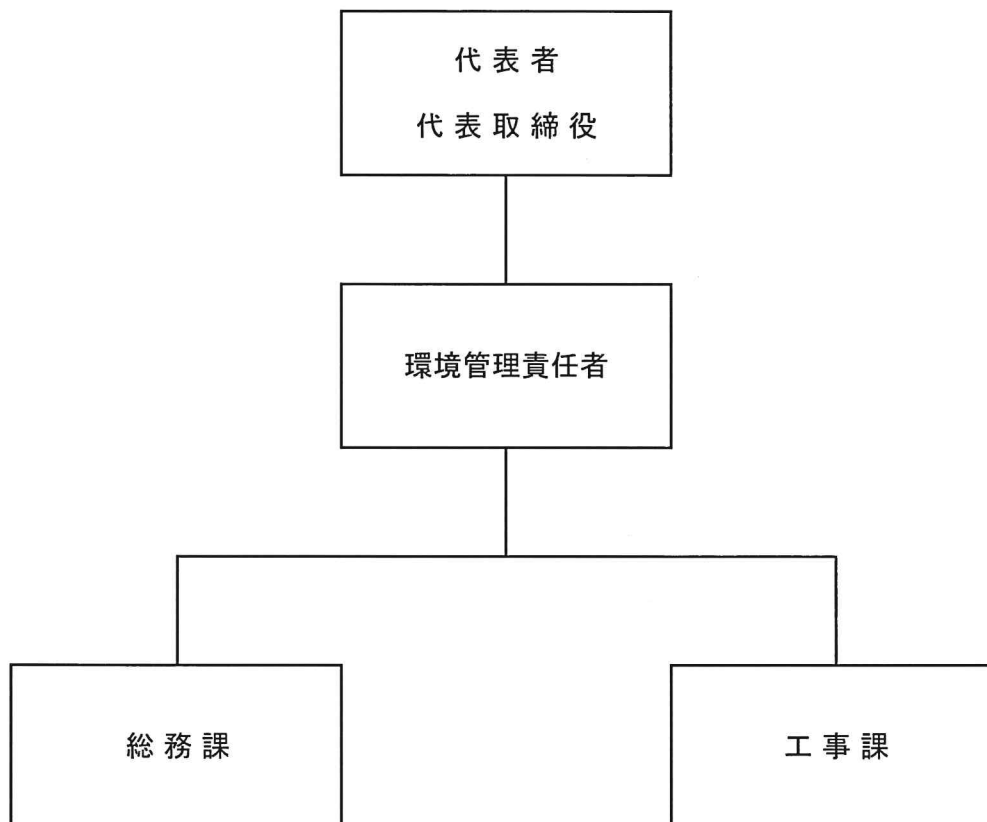
2009年12月15日 策定

2018年10月1日 改定

株式会社 北原組

代表取締役 北原 裕一

### 3.実施体制



	役割(責任・権限)
代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する総括責任</li> <li>・環境管理責任者の任命</li> <li>・環境経営方針の策定、見直し及び全従業員への周知徹底</li> <li>・環境経営目標、環境経営計画書を承認</li> <li>・代表者による全体の評価と見直し・指示の実施</li> <li>・経営資源の配分</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムを構築、実施、管理</li> <li>・法規制等の取りまとめ及び遵守評価の実施</li> <li>・環境経営目標、環境経営計画書を確認</li> <li>・環境経営の取り組み結果を代表者に報告</li> <li>・環境経営の実施集計</li> <li>・環境コミュニケーションの受付窓口</li> <li>・問題点の発見、是正、予防処理</li> </ul>
各課責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の下、必要な計画、指示、指導、教育及び訓練の実施</li> <li>・各項目の問題点の発見、是正、予防処置を環境管理責任者に報告</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針を理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>・決められた事を守り、自主的、積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

## 4.環境経営目標

取組項目 (事務所・現場)	基準値				環境経営目標		
	44期	45期	46期	平均	47期	48期	49期
CO2排出量の削減 (円/kg-CO2)	2,572	1,426	1,540	1,846	1,865	1,883	1,902
	※売上対比で表示 売上高/二酸化炭素排出量			削減目標	平均基準値+1%	平均基準値+2%	平均基準値+3%
CO2排出量の実績 (kg-CO2)	92,931	138,140	111,835	114,302	—	—	—
電気使用量削減 (kWh)	9,392	9,942	8,905	9,413	9,319	9,225	9,131
	※排出係数 0.452(kg-CO2/kWh)			削減目標	平均基準値-1%	平均基準値-2%	平均基準値-3%
燃料使用量削減 (円/ℓ)	6,700	3,711	4,024	4,811	4,859	4,908	4,956
	※売上対比で表示 売上高/燃料使用量			削減目標	平均基準値+1%	平均基準値+2%	平均基準値+3%
廃棄物排出量削減 (円/kg)	251.610	270.990	453.440	325.347	328.600	331.854	335.107
	※売上対比で表示 売上高/廃棄物排出量			削減目標	平均基準値+1%	平均基準値+2%	平均基準値+3%
化学物質 使用量削減(kg)	—	—	—	0	0	0	0
	—	—	—	削減目標	—	—	—
グリーン購入 (種類)	10	11	6	9	9種類以上 目標	9種類以上	9種類以上
生産製品の環境配慮 (工事評定の向上)(点) 国有林	72	82	80	78	80点以上	80点以上	80点以上
生産製品の環境配慮 (工事評定の向上)(点) 県	84	0	0	80	82点以上	82点以上	82点以上
				目標点	基準以上確保	基準以上確保	基準以上確保

※中部電力株式会社 2018年度実績換算係数採用

※基準値を出す際、2017年版環境への負荷の自己チェック表使用

※1年単位で総量での比較が難しいため売上対比で表した

※水道使用量については事務所の使用で使用量が少ないため取組からはずす

※化学物質使用料については基準値となる実績が無いため目標を0に設定

※事務所・現場ともに同じ目標設定とする

## 5. 48期 環境経営計画

### 基本方針

- ①二酸化炭素排出量の削減 ②産業廃棄物・一般廃棄物の排出削減とリサイクル率の向上 ③節電に積極的に取り組む  
④環境に配慮した製品の提供の推進 ⑤グリーン購入の推進 ⑥自然資源(太陽光)の有効活用

消費電力の削減	
1	不在時、昼休憩時は消灯する。
2	終業時、電子機器のコンセントを抜く。
3	ハイブリッド節電の機能を利用し、クール・ウォームビズの実施。
4	足元のヒーターをこまめに調節する。
5	現場でのソーラー信号機等の使用。

ガソリン使用量の削減	
1	急発進・急ブレーキ・急加速をしない。
2	不要なアイドリングのストップ。
3	現場等への乗り合わせ。
4	運転日誌をつける。

廃棄物の削減	
1	コピー用紙の裏紙使用。プレビューを使用しミスコピーの防止。
2	資源ごみの分別、リサイクルの実施。
3	古紙リサイクルステーションへの持ち込みによる再生品への交換。

環境関連法規・条例の遵守	
1	環境関連法規・条例の違反をしない。

生産製品の環境配慮	
1	工事評点の向上。
1.1	環境提案の推進。
1.2	地域への環境貢献度の維持。
1.3	顧客苦情の〇化継続。

グリーン購入の推進	
1	事務用品全般について詰替え用カートリッジ等を利用する。

再生可能エネルギー発電の活用	
1	北原組倉庫太陽光の発電をチェックし、発電量の記録をする。

## 6. 環境活動の取組結果と評価

### (1) 取組結果

取組項目 (事務所・現場)	基準値 平均		環境目標			取組結果 今後の方針・次年度の取り組み
			47期	48期	49期	
CO2排出量の削減 (円/kg-CO2) ※売上対比で表示 売上高/二酸化炭素 排出量	1,846	環境目標	1,865	1,883	1,902	・前期よりも電気使用量、事務所ガソリン 使用量、現場灯油使用量、現場LPG使用 量が増加。 ・現場での使用量削減は難しいので事務 所での取り組みについて話し合っていく。
		実績値	1,766	1,604		
		評価	×	×		
		CO2総排出 量の実績 (kg-CO2)	122,399	95,007		
電気使用量削減 (kWh) ※排出係数 0.452(kg-CO2/kWh)	9,413	環境目標	9,319	9,225	9,131	・前期よりも使用量が増えた月が8か月 あり暖房と冷房を使用した月だった。 ・エアコン、足元の暖房機、ストーブの重 複使用を減らしていく。
		実績値	8,923	9,339		
		評価	○	×		
燃料使用量削減 (円/ℓ) ※売上対比で表示 売上高/燃料使用量	4,811	環境目標	4,859	4,908	4,956	・燃料使用量を減らすのは難しい。 ・引き続き運転日誌の活用、乗り合わせ 等現状維持に務める。
		実績値	4,620	4,207		
		評価	×	×		
廃棄物排出量削減 (円/kg) ※売上対比で表示 売上高/廃棄物排出量	325.347	環境目標	328.600	331.854	335.107	・前期同様排出量の少ない仕事を選び、 請負うことができた。
		実績値	935.274	411.410		
		評価	○	○		
化学物質 使用量削減 (kg)	0.00	環境目標				
		実績値	0.00	0.00	0.00	
		評価				
グリーン購入 (種類)	9	環境目標	9種類以上	9種類以上	9種類以上	・グリーン適合品を選ぶように心掛けた。 ・現状維持に努める。
		実績値	9種類以上	9種類以上		
		評価	○	○		
生産製品の環境配慮 工事評定の向上(点)	78	環境目標	80点以上	80点以上	80点以上	・1件あったが対象工事ではなかった。
国有林		実績値	84			
評価		○				
生産製品の環境配慮 工事評定の向上(点)	80	環境目標	82点以上	82点以上	82点以上	・3件対象工事があり、2件が目標点以上 だった。
県		実績値		85		
評価			○			

※44期、45期、46期の平均を基準値とした

※中部電力株式会社 2018年度実績換算係数採用

※1年単位で総量での比較が難しいため売上対比で表した

※売上対比は、売上高/取組項目の環境負荷

※水道使用量については事務所の使用で用量が少ないため取組から外す

※化学物質使用量については基準値となる実績がないため目標を0に設定

改善点等

・事務所暖房器具の重複使用を減らす



(2) 取組状況と成果(48期)  
【グリーンカーテン】 朝顔



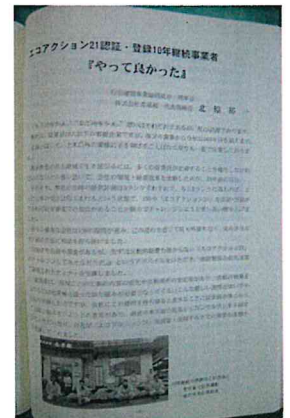
・総務課,工事課事務所とも朝顔を栽培。

【菊栽培】



・毎年恒例の菊栽培。畑を耕し、鉢植えにするまでの工程を社員一同で頑張ってます。

【エコアクション21認証・登録10年継続事業者】



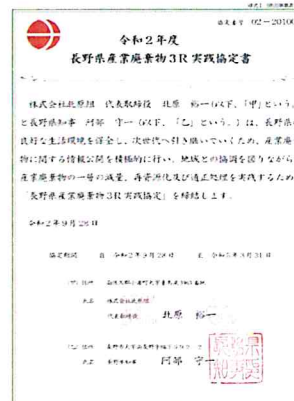
・2020年11月に継続10年ということで表彰していただき、会報サンNo.49に社長の記事が掲載されました。

【緑の募金】



【長野県産業廃棄物3R実践協定】

SDGs活動の一環として緑の募金を行いました。



長野県産業廃棄物3R実践協定を締結しました。

《現場における環境管理・安全管理》

【オイルマット使用状況】



【緊急時訓練】



【エコアクション現場審査】



## 7. 環境関連法規等(要求事項の確認と遵守方法)

主な適用法規	要求事項	対応	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業廃棄物掲示板設置</li> <li>業務委託契約</li> <li>委託業者の許可有効期限の確認</li> <li>マニフェストの保管</li> <li>収集運搬車両の許可明示</li> <li>一般廃棄物処理の協力</li> </ul>	遵守
建設リサイクル法	特定建設資材の再利用・再資源化	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事着手前の計画等の届出</li> <li>周知徹底の確認</li> </ul>	遵守
河川法	河川工事同意書の提出	<ul style="list-style-type: none"> <li>届出書の確認と現場監視</li> </ul>	厳守
騒音規制法	適用指定地域での届出	<ul style="list-style-type: none"> <li>規制基準の遵守</li> </ul>	遵守
振動規制法	適用指定地域での届出	<ul style="list-style-type: none"> <li>規制基準の遵守</li> </ul>	遵守
道路交通法	所轄警察署長への許可申請	<ul style="list-style-type: none"> <li>届出書の確認</li> </ul>	遵守
家電リサイクル法 小型家電リサイクル法	廃棄物の適正な処理 資源の有効的な利用の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>小売店へ料金を支払い引き渡す 又は</li> <li>自治体指定の方法で引き取り 依頼をする</li> </ul>	遵守
自然公園法	国民の保健、休養及び教化に資するとともに、生物の多様性の確保に寄与すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3次規制(リース)機材</li> <li>低騒音重機等使用</li> <li>水質汚染防止</li> <li>道路汚損の留意、現場外への持出</li> <li>土砂の持ち出しをしない</li> <li>作業員への周知</li> </ul>	遵守

※2021年9月28日環境関連法規の違反が無いことを確認しました。

関係当局からの違反・訴訟に関する指摘、工事現場における苦情は、過去3年間ありません。

## 代表者による全体取組状況の評価及び見直しの結果・指示

評価実施時期 2021年 9月30日

実施者 代表取締役 北原裕一

(管理責任者の報告)

### ①[目標・環境経営計画の達成状況]

目標項目	目標値	環境活動	コメント
	達成状況	達成状況	
CO <sub>2</sub> 排出量の削減	×	△	前期より増加。事務所での取組を考える。
電気使用量削減	×	△	エアコン・ストーブ・足元暖房の重複使用の検討。
燃料使用量削減	×	△	重機の使用量が増大。
廃棄物排出量削減	○	○	廃棄物の多く出る現場が少なかった。
グリーン購入	○	○	適合商品への切り替え。現状維持につとめる。
生産製品の環境配慮(国有林)	—	—	対象の工事なし。
生産製品の環境配慮(県)	○	○	3件対象。2件の工事が目標点以上

(管理責任者のコメント・提案)

- ・2020年度認証・登録10年継続記念の感謝状と盾をいただくことができました。社員一同が一丸となって取り組んできた、努力の結果とうれしく思います。今後の継続に向け更なる挑戦が課題です。

(代表者の提案への必要性の有無・指示事項)
必要性(有) 無
指示事項: 建設業の仲間たちに「エコアクション21」のすばらしさを伝え、取得してもらおう「声かけ」をしていきたい。

- ・工事課事務所の冬期の温度管理が問題です。結露によりコピー機にも支障がでました。タイマーでエアコンを設定しておきたいと思いますが、電気使用量の増加が懸念されます。

(代表者の提案への必要性の有無・指示事項)
必要性(有) 無
指示事項: 帰社したときに寒いことのないように。また早朝のパソコン作業があるときのためにタイマーで室温を暖かくしておきたい。

- ・コロナ対策の備品を考えます。従業員の家族関係友人関係に濃厚接触者が出た時のために、抗原検査キットを準備し、始業前に検査をし陰性であることを確認して、現場に出てもらいます。

(代表者の提案への必要性の有無・指示事項)
必要性(有) 無
指示事項: できる対策は、進めて社内の感染防止。準備した備品を使用しているか? チェック体制も確立していく。

(管理責任者の報告)

②[太陽光発電システムの導入状況]

- ・導入及び稼働;平成25年3月～
- ・発電出力;28.8kW 中部電力への売電
- ・売電電力量 33,047kWh/平成25年10月～平成26年 9月
- ・売電電力量 33,134kWh/平成26年10月～平成27年 9月
- ・売電電力量 34,417kWh/平成27年10月～平成28年 9月
- ・売電電力量 34,665kWh/平成28年10月～平成29年 9月
- ・売電電力量 36,380kWh/平成29年10月～平成30年 9月
- ・売電電力量 33,097kWh/平成30年10月～令和1年 9月
- ・売電電力量 33,749kWh/2019年10月～2020年 9月
- ・売電電力量 34,268kWh/2020年10月～2021年 9月
- ・二酸化炭素排出係数(0.452kg-CO<sub>2</sub>/kWh)

※15,489kg-CO<sub>2</sub>

## 太陽光発電

	2019年 10月～2020年 9月		2020年 10月～2021年 9月	
	受給電力量(kWh)	売電金額(円)	受給電力量(kWh)	売電金額(円)
10月	2,776	119,923	2,578	113,432
11月	2,046	90,024	2,157	94,908
12月	2,052	90,288	1,933	85,052
1月	1,585	69,740	1,766	77,704
2月	1,697	74,668	1,490	65,560
3月	2,391	105,204	2,614	115,016
4月	2,565	112,860	3,397	149,468
5月	4,056	178,464	4,062	178,728
6月	4,232	186,208	3,605	158,620
7月	3,841	169,004	3,780	166,320
8月	2,801	123,244	3,748	164,912
9月	3,707	163,108	3,138	138,072
合計	33,749	1,482,735	34,268	1,507,792

(管理責任者のコメント・提案)

再生可能エネルギー発電設備を導入し、8年半が経過した。

前期より多少ではあるが、需給電力量が増加。

温暖化による天候不順も懸念される。天候により月々の変動があり、不安定なこともあるが、引き続き発電データを収集し、今後の取組について検討していく。

2019年10月～2020年9月の1年間の二酸化炭素排出抑制量(15,489kg-CO<sub>2</sub>)を見ると、購入電力の二酸化炭素排出量(4,221kg-CO<sub>2</sub>)を大きく上回っている  
ので、良い成果が出ていると思われる。

### 評価及び見直しの結果・指示

弊社では、このエコアクション活動により、資材・時間の無駄とムラがなくなったことが、利益にもつながっているという実感が湧いてきている。

このような良い仕組み「エコアクション21」は、大勢の仲間たちに広げること、従業員一同でやっていきたい。